

1-単元 6

What do you want?

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にアルファベットの大文字を読んだり書いたりする態度を身につけ、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。
単元評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。 欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。
表現	What do you want? The “A” card, please. アルファベットの大文字 (A ～ Z), twenty one, ..., thirty new,ball,cap,racket,T-shirt

単元計画（5 時間）

時	目標と主な活動	評価		
		コ	慣	気
1	身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。 ○「何を表しているか考えよう。」 【P 1】誌面の絵からアルファベット大文字を探す。 【P 2】「ポインティングゲーム①②」 【C 1】“Alphabet Chant” ○「キーアルファベットゲーム」 ○「アルファベットを書こう」			○
2	アルファベットの大文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【C 1】“Alphabet Chant” 【P 2】「ポインティングゲーム①③」 ○「何のアルファベット大文字かな？」 【C 2】“What do you want?” 【L】音声教材を聞いて、アルファベット大文字や数字を線で結ぶ。 ○「アルファベットを書こう」		○	○
3	アルファベットの大文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C 1】“Alphabet Chant” 【P 2】「ポインティングゲーム①④」 ○「チェーンゲーム その1」3文字のアルファベットを言って順に伝えていく。 【C 2】“What do you want?” ○「ラッキーカードゲーム」 ○「アルファベットを書こう」		○	○
4	積極的にアルファベットの大文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C 1】“Alphabet Chant” ○「チェーンゲーム その2」3文字のアルファベットを言ったりカードを見せたりしながら順に伝えていく。 【C 2】“What do you want?” 【P 3】「カード集めゲーム」 【A】身の回りから見つけたアルファベット大文字を表に書き写す。		○	○
5	積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 【C 2】“What do you want?” ○「アルファベット表示辞典を作ろう。」身の回りで見つけたアルファベットの表示に必要なアルファベットカードをもらって、学級のアルファベット辞典を作る。 ○「アルファベットを書こう」		○	

1ー単元 6 What do you want? 1/5 時間		
目 標 身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの 大文字とその読み方を知る。		
準 備 教師用カード (アルファベット大文字), (身の回りのアルファベット大文字表示の写真, または菓子箱などの実物), デジタル教材 (Hi, friends Plus 含む) , (振り返りカード)		

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
○「何を表しているか考えよう。」 ・指導者が見せるアルファベット表示の一部を見て、それが何かを推測して答える。 ・それをどこで見かけるか考えて答える。	・指導者はあらかじめ、身の回りにあるアルファベット大文字表示を探して、その写真や表示のある実物を用意しておく。 ・それらの一部を見せ、それが何かを尋ねる。 ・アルファベット表示のすべてを見せて、それが何かを確認し、どこで見つけられるか尋ねる。※評価	身の回りのアルファベット大文字表示の写真, または菓子箱などの実物
○アルファベットの文字当てをする。 「何の文字かな」「懐中電灯」 (Hi, friends! Plus)	・デジタル教材を見て、アルファベットの大文字とその読み方を知る。	デジタル教材
【Let's Play 1】 p. 22, 23 ・誌面の町の絵からアルファベット大文字を探す。 ・アルファベット大文字を数え、26 文字あることを知る。	・アルファベット大文字が、誌面の町の絵のどこに隠れているか尋ねる。教師用カードでアルファベット大文字を1文字ずつ紹介しながら、その文字を探させる。カードはアルファベット順に貼っていく。(デジタル教材では、誌面に隠れているアルファベット大文字を画面上で確認することができる。) ・黒板に貼った教師用カードをさしながら、アルファベット大文字を one, two, ..., twenty six と児童と一緒に数え、21～30 の数の言い方を紹介する。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
【Let's Play 2】 p. 22, 23 (指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照) ・ポインティングゲーム①②を、誌面周りのアルファベット大文字でする。	・ポインティングゲーム①を行った後、ペアになり②を行わせる。アルファベットを言い、児童がさし示したのを確認してから、教師用カードで答えを確認させる。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” p. 24 ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら一緒に言う。	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら、一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
《WC1-U1》【Let's Listen 1】 「名前のつづりを聞こう」 登場人物が話す音声を読み、聞こえたアルファベットを発表する。	単元 4 で聞いた音声を再度視聴する。	
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

- ・身の回りにはアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。【気】＜行動観察・振り返りカード分析＞

<p>1ー単元 6 What do you want? 2/5 時間</p> <p>目 標 アルファベットの太文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>準 備 教師用カード（アルファベット太文字）、教師用絵カード（果物・動物・食べ物・スポーツなど）、デジタル教材、（振り返りカード）</p>

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” p. 24</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら一緒に言う。</p>	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら、一緒に言う。	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
<p>【Let's Play 2】 p. 22, 23 （指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照）</p> <p>・ポインティングゲーム①②を、誌面周りのアルファベット太文字でする。</p>	・アルファベットを言い、児童がさし示したのを確認してから、教師用カードで答えを確認させる。	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
<p>○「何のアルファベット太文字かな？」をする。</p> <p>・欲しいものを尋ねる表現と答え方を知る。</p> <p>【活動の進め方】</p> <p>①指導者は、児童に目を閉じさせ、黒板に大きく1～30の数字を書き、その上にこれまでに慣れ親しんだ語彙（果物・動物・食べ物・スポーツなど）の絵カードを貼り、数字を見えなくする。</p> <p>②指導者は、What do you want? The apple card? The baseball card? と言って、どのカードが欲しいか尋ねる。児童は、欲しいカードを、～, please. と言って答える。</p> <p>③指導者は児童が答えたカードを、その児童に渡す。</p> <p>④これを繰り返し、児童は隠れていた数字が何かを当てる。</p>	<p>・What do you want? と欲しいカードを尋ね、隠れていた数字が見えてきたら、What's this? と尋ねる。1, 2回目は1～20の数字、3回目以降は、21以上の数字で行う。 ※評価</p>	教師用絵カード（果物・動物・食べ物・スポーツなど）
<p>【Let's Chant 2】“What do you want?” p. 25</p> <p>・音声教材を聞いて、一緒に言う。</p>	・音声教材を聞かせ、教師用カードを見せながら一緒に言う。	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
<p>【Let's Listen】</p> <p>・音声教材を聞いて、アルファベット太文字や数字を線で結ぶ。</p> <p>・点を結んでできた模様が何かを考えて、答える。</p>	<p>・音声教材を聞かせる際に、児童の実態に応じて、途中で音声を止めてアルファベット太文字や数字を確認する。</p> <p>・点を結んでできた模様が何かを、What's this? と尋ねる。（デジタル教材では、画面上で答えを確認することができる。）</p>	デジタル教材
<p>○アルファベットの読み方と音に慣れる。</p> <p>（Hi, friends! Plus ジングル Everyday Things 編）</p>	・児童の事態に合わせて、バージョン、速度を選択する。	デジタル教材
<p>○【Sounds and Letters】</p> <p>アルファベットの太文字を書こう。</p> <p>・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞる。</p>	・児童の実態に合わせて、1～2文字だけ書く、授業で扱っている語いや表現に出てくる文字を書く。	デジタル教材
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

- ・アルファベットの太文字とその読み方とを一致させている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞
- 準備物
- ・ワークシート（アルファベットの太文字の認識）を児童数分、印刷しておく。

<p>1-Lesson 6 What do you want? 3/5 時間</p> <p>目 標 アルファベットの太文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 教師用カード（アルファベット太文字）、デジタル教材、（振り返りカード）</p> <p>巻末児童用カード（アルファベット太文字 あらかじめ切り分けさせておくとい）</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” p. 24</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。</p>	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら一緒に言う。	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
○アルファベットの読み方と音に慣れる（Hi, friends! Plus ジングル Everyday Things 編）	・児童の事態に合わせて、バージョン、速度を選択する。	デジタル教材
<p>【Let's Play 2】 p. 22, 23 （指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照）</p> <p>・（ポインティングゲーム①）指導者が言うアルファベットを聞いて、各自が誌面 p. 22, 23 の周りにあるアルファベットの太文字をさし示す。</p> <p>・（ポインティングゲーム④）ペアになり、1つの誌面で行う。指導者が言うアルファベットを聞いて、アルファベットの太文字をさし示す。さし示した指はそのままに残し、多くの太文字をさし示していた方が勝ち。</p>	<p>・ポインティングゲーム2種類をすることを告げる。</p> <p>・アルファベットを言う。児童がさし示したのを確認してから、教師用カードを見せ、アルファベットの太文字を確認させる。</p>	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
○「チェンゲーム その1」をする。	・代表児童とデモンストレーションなどをして、進め方を示す。 ※評価①	教師用カード（アルファベット太文字） 巻末児童用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
<p>【チェンゲーム その1の進め方】</p> <p>①列を作り、最後尾の児童は巻末児童用カード1組を用意する。</p> <p>②指導者は、I, N や O, F, F など、3文字程度のアルファベットを列の先頭児童に言う。</p> <p>③列2番目の児童は、先頭児童にWhat do you want? と尋ねる。先頭児童は、指導者から聞いたアルファベットを～, please. で答える。3番目児童は2番目児童に、What do you want? と尋ねる。2番目児童は、～, please. で聞いたアルファベットを答える。</p> <p>④これを繰り返していく。最後尾の児童は、伝え聞いたアルファベットの太文字カードを黒板に貼り、答えを確かめる。</p>		
<p>【Let's Chant 2】“What do you want?” p. 25</p> <p>・音声教材を聞いて、教師用カードを見ながら言う。</p>	・音声教材を聞かせ、教師用カードを見せながら一緒に言う。	教師用カード（アルファベット太文字） デジタル教材
<p>○ラッキーカードゲームをする。</p> <p>（指導編“Hi, friends! 2” p. 31 参照）</p> <p>・各自、巻末児童用カードを1組用意してゲームをする。</p>	・グループで、What do you want? ～, please. とやり取りしてゲームを進めさせる。 ※評価②	巻末児童用カード（アルファベット太文字）
<p>○【Sounds and Letters】</p> <p>アルファベットの太文字を書こう。</p> <p>・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞったり書いたりする。</p>	・児童の実態に合わせて、1～3文字だけ書く、授業で扱っている語いや表現に出てくる文字を書く。	デジタル教材
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

①アルファベットの太文字とその読み方とを一致させている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

②欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

準備物

・ワークシートを児童数分、印刷しておく。

1—Lesson 6 What do you want? 4/5 時間

目 標 積極的にアルファベットの大文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 デジタル教材、（振り返りカード）巻末児童用カード（アルファベット大文字）

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら一緒に言う。	教師用カード（アルファベット大文字） デジタル教材
○アルファベットの読み方と音に慣れる （Hi, friends! Plus ジングル）	・児童の事態に合わせて、バージョン、速度を選択する。	デジタル教材
【Let's Play 3】「カード集めゲーム」 ・選んだ5枚のカードもち、友だちとじゃんけんをする。負けた方が“What do you want?”と尋ね、勝った方はほしいカードを答える。それを繰り返し、同じアルファベットを5枚集める。	・デモンストレーションを行い、ルールを確認する。	デジタル教材
【Let's Chant 2】“What do you want?” ・音声教材を聞いて、一緒に言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
【Activity】 p. 25 ・身の周りから見つけたアルファベット大文字を発表し、表に書き写す。	・誌面またはワークシートに書かせる。	
《WC1-U1》【Let's Listen 3】 「登場人物がほしいものを聞きましょう」	・何度か音声を止めたり、繰り返し聞かせたりする。 ・全体に確認したり、個々に確認したりしながら全員が自身をもって聞けるように丁寧に指導する。	デジタル教材
【Sounds and Letters】 アルファベットの大文字を書こう。 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞったり書いたりする。	・児童の実態に合わせて、1～3文字だけ書く、授業で扱っている語いや表現に出てくる文字を書く。	デジタル教材
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

①欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

②自らアルファベットの大文字を読んでいる。【コ】＜行動観察・振り返りカード点検＞

1—Lesson 6 What do you want? 5/5 時間

目 標 積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。

準 備 教師用カード (アルファベット大文字), アルファベット大文字カード, デジタル教材, (振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
【Let's Chant 2】“What do you want?” ・音声教材を聞いて、一緒に言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
○アルファベットの読み方と音に慣れる (Hi, friends! Plus ジングル Everyday Things 編)	・児童の事態に合わせて、バージョン, 速度を選択する。	デジタル教材
≪WC1-U1≫ 【Let's Watch and Think】 「わかったことを空欄に書こう」 ・映像を見て、登場人物の好きなものやほしいもの、持っているものなどわかったことを空欄に書く。	・何度か音声を止めたり、繰り返し聞かせたりする。 ・推測しながら聞かせる。	デジタル教材
≪WC1-U1≫ 【Let's Play 4】 「ほしいものをインタビューしよう」 ・友だちが1番ほしいと思っているものをインタビューで確認する。	・予め、場面設定する(誕生日、新しく替えたいものなど) ・予想を立ててインタビューする・ ・結果を共有し、理由とともに発表させる。	
≪WC1-U1≫ 【Story Time】 ・カズとマリアの絵本の読み聞かせを聞く。	・デジタル教材または、指導者が読み聞かせする。	(デジタル教材)
【Sounds and Letters】 アルファベットの大文字を書こう。 ・参考例にならって、四線上のグレーのアルファベットの文字をなぞったり書いたりする。	・児童の実態に合わせて、1～3文字だけ書く、授業で扱っている語いや表現に出てくる文字を書く。	
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

・自らアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【コ】＜行動観察・振り返りカード点検＞